



学校だより  
**桜っ子  
通信**

校 訓  
自ら学び  
自ら考え  
自ら行う

令和5年1月13日 第63号  
長崎市立桜町小学校長 野中正樹

## 3学期は凡事徹底から始めます！

新春のお喜びを申し上げます。保護者の皆様におかれましては、おすこやかに新春をお迎えのことと存じます。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

さて、1月10日（火）の3学期始業式での校長講話において、今年の干支である癸卯（みずのと う）は、これまでの努力が実を結び、勢いよく成長し飛躍するような年になると言われているので、桜っ子の皆さんも3学期もしっかりと自ら努力を重ねて、4月からの進級や進学に備え、新年度を迎えてほしいと伝えました。そして、3学期に特に頑張してほしいこと以下の事3つを伝えました。

### 【いじめゼロ・ちくちく言葉（悪口）ゼロ大作戦】

昨年の12月に実施した2回目の学校評価において、いじめに対する評価結果が保護者・児童とも下降したことを受けて、学校全体で取り組むこととしました。子どもたちが書きたいじめに関する記述に「いじめは、減っているけど、すべてなくなっているわけではないので、すべてなくなるように工夫してほしいです。」「生徒たちの会話とかをよく聞いてください。ひどいことを言っている人が数人います。」とあったように、桜町小学校からいじめをなくしたいという気持ちは伝わってくるのですが、子どもたちのいじめ根絶に向けた当事者意識が低いように感じます。もちろん、教職員や保護者がいじめの早期発見を目指して、子どもたちの様子をしっかりと見守ることも必要ですが、ご存じのとおり、いじめは大人の目が届きにくいところで発生することが多いです。ですから、これまでも「相手の嫌がること、自分がされて嫌なことは、しない・言わない・見逃さない・繰り返さない」の桜町小学校いじめしない宣言を指標にして、子どもたち自身がいじめ根絶にむけてしっかりと向き合うように取り組んできました。今回の学校評価を好機と捉え、まずは、クロムブックのジャムボード（パソコン上の付箋紙に自分の意見を書いてグループで共有や協議することができるソフト）などを活用して、「いじめ根絶に向けた第一歩とするために、言われたら嫌な言葉の見える化を行います。そして、桜町小学校から、ちくちく言葉（悪口）が減るために」というテーマで学級活動を行い、ちくちく言葉（悪口）ゼロに向けての個人目標を設定するとともに、具体的な実践方法を決定し、「さくらまち習慣 振り返りカード」に記入し、今月、一人一人が重点的に実践していくこととしました。

なお、本作戦に関する各学級や学年での実践については、今後、学級通信や学年通信でお知らせいたしますので、ご覧いただくとともに、ご家庭でも話題にさせていただきますようお願い申し上げます。

### 【マナー守るよ はしっこ歩き】

「さくらまち習慣」の一つに「マナー守るよ はしっこ歩き」がありますが、廊下を走ったり、階段を跳んで下りたりする子どもが散見されます。学校だより60号「11月さくらまち習慣振り返り」でお知らせしたとおり、廊下に赤いペットボトルを置いて、廊下の左右を意識して、落ち着いて、静かに廊下歩行ができるように取り組んでいます。また、生活委員会の生活委員会の子どもたちが、正しい廊下歩行に関連した看板を作成し、校舎2階の中央階段前の踊り場に設置してくれました。3学期も「マナー守るよ はしっこ歩き」を意識して、落ち着いて学校生活を送るよう取り組んでいます。

### 【まっすぐ かかとならべ 復活】

以前、桜町小学校は、下駄箱のふちに靴のかかとをそろえて、真ん中に揃えて置くことを「さくらまち習慣」の一つに「まっすぐ かかとならべ」を設定して全校で取り組んでいました。昨年度、「さくらまち習慣」の項目を見直す中で、この靴並べの取組をなくしましたが、こここのところ、靴並べが乱れてきたので、3学期は重点的に取り組むこととしました。まずは、一人一人が「まっすぐ かかとならべ」を意識して靴を置きます。そして、私が予告なしで週に1回程度、下駄箱の様子を点検し、その結果を給食時のお昼の放送で発表することにしました。1月11日（水）の点検では、全校で71足の靴が不合格でしたが、翌日は、26足と改善しました。意識のもち方次第で行動は改善することを実感しました。桜っ子全員合格の日が来るのが今から楽しみです。



以上の「悪口を言わない」「右側歩行」「靴並べ」は、できて当たり前のことばかりです。この3つの**凡事徹底**をとおして、桜町小学校が明るい雰囲気の中にも、落ち着きのある学校となるよう取り組んでいきます！